昭26年5月16日（水曜日）　第293號　磐城毎日新聞

（昭和二十五年十二月第621號）（國鐵特別扱認可）　種別　第三種郵便物認可（一）

磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市15丁目12番地
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　遠藤孝倫
發行人
電話（平）一二〇番
定價　1ヶ月50円　1部2円
【夕刊・月曜休刊】

選擧に出足頗る好調

誰は村長人的 田金

午後一時七〇%に達す

田人村の首長けほゞ七〇%に達し吾が村の椅子をめぐつて三つ巴の戰を演じて居た村長選擧戰も今日十五日村民の審判によつて決せられる、十五日午後一時現在村民の出足頗る好調雨模様の薄曇の空をながめつゝ有權者は續々投票所につめかけほゞ七〇%に達し吾が村の首長選に强い關心を示している、開票は午後七時より十時頃には大勢が判明する模様、逸見、絲川（萬）絲川（良）の三氏の中金的を射止めるものは誰か、各事務所はヒツソリ閉として今は唯開票の結果を待つばかりである

迎歡稿投

快晴に惠まれた競輪

總賣上一千七百余萬圓

穴は因緣つきの四レース

平競輪第四回レース鐘をならす一件についてスツタモンダの結果反則にあらすとするの競輪本部側の見解をそのまゝ押し通しいくらか興奮氣味にあつた觀衆もレースの再開と共に次第に競技にとけこんで無事終了した第四回目五百五十三萬二千八百圓の賣上を收め入場者は二千二百一名、問題の穴は曰く因緣つきの四レース連五千九百三十圓が最高であつた、四日間通總入場者八千四百七十一名總賣上壹千七百六十六萬六千四百圓で前回より十五萬余圓程落ちたがまづまづ上々、これで回を重ねる事四度平競輪も快晴に惠まれて終了した

茨城縣鹿島平高松村泉川濱七浬附近で座礁乘組員二名がたゞちに泳いで連絡、すぐに銚子海難救助船が現場に急行、小名濱より巡視船うづら丸及同船の姉妹船が現場に向ひ五十名の乘組員は全員無事救助された、同船はカツオの遠洋漁業のため出漁中高松燈臺と銚子燈臺と間違つて座礁したものである

入遠野村長選

立候補屆佐藤氏

再選擧に決して居た入遠野村村長選擧は十一日より立候補屆出を開始、現在までは今回の村議選に次點で落選した同村字前田九八農業佐藤龜五郎（六三）さんが無所屬を名乘つて立候補した

泉、植田、勿來停車

十六日より二一二列車

國鐵では東京方面行きの旅客の便をはかるため現在通過驛であつた泉、植田、勿來の三驛を平着午前一時二十分常磐線上り二一二列車を十六日から今月末日まで停車する事になつた時刻は次の通りであるが停車時間は三十秒である

發	1時28分	平一中
平綴	1分35〃	七萬一千七百五
湯本	1分45〃	七日 十圓
泉	1分51〃	三千七百六十七圓
植田	2分00〃	八日 五十七錢
勿來	2分07〃	平一小 六千五圓五十錢
〃	〃	六日 平五小 四千九百三十三
〃	〃	圓四十錢 十二日 千 草 二萬一千六十三
〃	〃	十二日 三町目 柏原光太郎氏は 圓

市民主事業助成會に金五千圓を寄附をした

第二部委員會

教育の狀況、施設協議

平市會常任委員第二部委員會は十五日午後一時より市役所第一委員會室において開かれ市內における學校教育の狀況施設其の他について審議する

早く家を造つて下さい

庶民住宅の抽せんに殺到

平市役所では二十五年度の庶民住宅の割當抽せんを十五日午前十一時より開始午前の部は希望者五十八名、（內抽せんに來所した者五十三名）中當選者は十五名午後の部は百九十五名に對し三十一名で計二百五十三名中四十六名、深刻な住宅難の世相を遺憾なく現している、當選者の入る住宅は十四戶は舊城跡に三十二戶は谷川瀨に建築中で早い組は來月十日頃から入る事が出來るでしようと市役所土木課では言つている

淨水場を視察

土木委員具体案を考慮

十四日平土木委員會では、午前十時から好間川水源地および上ノ原淨水場の視察を行つた、先般來より好間村から分水契約に違反があるとして分水の設備などを完全にされたいとの話があり現地調査を行つて解答するためである

林業用石油の委員會開かる

林業用石油製品は今回新しく地方事務所林務課で取扱ふ事となつたが初の林業用石油製品配給委員會が十五日午前十時より郡內の林業組合製材工場關係その他の地方事務所より委託された委員三十名によつて開かれ具体的な方法其の他について審議した

狂犬病予防會議

平保健所では十六日午前十時から石城地方事務所會議室で各市町村衞生主任及獸醫約四十名が出席し狂犬病予防協議會を開く

今日の天氣

今晚は南東の風やゝ强く曇時々小雨の天氣十六日は南の風强く後北の風で小雨だが午後北西の風に變り快復に向ふ

白い羽根募金進む

學生は一中が募金良好

昭和二十六年度白い羽根赤十字募金については既報の通りであるが現在までの成績は次の通り

十一日	鍛冶町	五千百圓
十一日	三町目	五千圓
十五日	五町目	四千七百五十圓
十五日	柳町	七千七百四十圓
十五日	街頭募金	

開拓組合長の會議

來る六月五、六の兩日石城地方事務所に郡內二十の開拓組合の組合長が集り入植關係の諸問題について協議する、なお縣よりも關係者が來平して同問題につき審議する

福淸丸座礁

乘組員全員無事

江名町中之作佐野五郎氏所有の福淸丸（一四三トン）が東北一を誇る平市の松ケ岡ツ、ジの宣傳公園のツツジも今月中旬が一番見頃なので國鐵平營業所平商工會議所では來客誘致のためポスターをもつて宣傳を開始した

訃

母キチ儀永らく病氣療養中の處藥石効なく五月十四日午後五時三十分死去致しましたので生前の御交誼を感謝致し謹んで御通知申上げます

追て送葬の儀は五月十七日午後二時自宅出棺菩提院に埋骨致します

昭和廿六年五月十五日

平市三町目二〇

喪主　柏原光太郎

親戚代表　柏原秀英

小柏柏柏柏柏原原原原

菅原武進

熊吉藏三介

16日～21日間 6日 全米ファンの肝を奪つた痛烈きわまる傑作西部活劇!!
シネカラーによる色彩映畫
西部の裁き
コロンビア映畫
主演 ランドルフ・スコット マーゲリット・チヤニブマン
聚樂館

夏フイの香リルをに
常に研究の店
飯田カメラ店
紺屋町 聚樂館向

新綠の滿喫
津平下
川角牛乳店
は新鮮な「平窪」のミルクで
申込先 市內大町 ミヅノ氷室へ
健康の母

飲食女給さん急募!!
（十八才より廿四、五才迄給料は面談の上）
お酒の店
平市本局前 電 八二五
柳

貸席
和風茶房と家族風呂
平市中町21 （電280）
志乃姫

昭和25年7月6日
(二)　第三種郵便物認可　昭和26年(1951)　磐城毎日新聞　5月16日〔水曜日〕第293號

平驛運轉無事故完成

水戸管理局長より表彰

平驛では十五日午前十一時より磐越東線ホームに於て水戸輸送長寺松文治氏(局長代理)臨席の許に平驛各關係者五十名參列第二期平驛運轉無事故完成を水戸管理局長より表彰された、平驛長大垣喜六氏談

大きなホームをもつていながら平驛の様な慘事を引越してこの様な事が絶對にない様益々努力する積りですと語つていた

小名濱二小で電話線二百米盜る

小名濱町立第二小學校では二十五年度に於て、講堂の建設を決議して置いたので目下野口組に於て施工中であるが、建築作業のために邪魔になつた、學校用電話を他に移動し電話線、ケイブル線約二百米が十二日夜何者かに窃取されて居るのを十三日學校より他所に通話しようとしたら不能なので外とを見ると電話線が張つて無いので窃盜にあつた事が初めて判明、小名濱署に届けた、最近この種の窃盜が非常にふえて來たので署ではそれが檢擧に努力を拂つて居る

北關東營業事務所長來平

十四日來平した國鐵北關東營業事務所長近造保一氏は平營業所長等と共に、四倉の濱海水浴場を視察、夏の國鐵サービスに萬全を期すため

平、赤井間電話線四百米切斷さる

十二日午後八時から十三日午前十時頃まで平營林署專用電話線平赤井間平市平窪地内御殿煉瓦工場前の二六ミリの硬銅線約四百米がベンチの様なもので切斷され盜まれた

農地關係者打合會

石城地方事務所では二十一日各町村の農地關係者を地方事務所に集め農地事務打合會を開する

便所の鉛管を盜む

去る七日二二三列車の便所內手洗給水管二米、便器洗水管二、五米が後部四輛目にて紛失しているのを發見した損害輕微

子供達の汽車の旅

春から初夏にかけて、子供達が一番嬉しい修學旅行が續々として行なはれている

△十五日、十六日(一泊)日光方面、平二中磐崎中、好間中、計八百名

△十七日、(日歸)横濱、東京方面、內鄉小九五〇名

△十八、十九日(一泊)日光方面內鄉中、平一、二中計八五〇名

△三十日、六月一日(一泊)江之島、鎌倉方面、小名濱一、二中、泉中、川部中計千名

△六月二日(日歸)松島方面四倉中學千名

△六月四、五日光方面(一泊)常磐中、湯本中、四倉中計八五〇名

藤越前で自轉車盜る

市內南町七十一番地電氣器具販賣商木田勝義(三三)さんは十四日午後五時から同六時頃までの間に田町藤越百貨店前で中古自轉車一臺八千圓相當を盜まれた

電蓄盜る

平市六間門十七番地飲食店佐藤キミヨ(五四)さん方では十四日電氣蓄音器一臺時價一萬六千五百圓相當を盜まれたと市署え届出た

繭の二倍增産

石城地方事務所蠶糸課では各町村の勸業主任を來る二十二日午前九時より地方事務所に參集を求め繭の二倍增産の具体的方針について協議する

アセチレン熔接士の講習會

二十一日平勞基署では東京都の東芝技師三上博氏を講師として招きアセチレン熔接士の講習會を勞働會館において開く

坑木不足をどう裁く

早急な解決策見出せず

既報の通り各炭礦は坑木對策には今のところ頭痛鉢危その蓄積に東奔西走をしているが、森材資源對策議會の情報によれば四月中旬未現在で炭礦貯木量は北海道一ケ月半分、山口二四、五日分、九州二四日分程度で常磐地方は六、七日とゆう心細い貯木しかないので關係當局は各炭礦側と共に憂慮その對策に余念がないがその策としていまのところ早急には解決が見え出せないが

▲年一回の伐採許可回數年度始め二、四回にする

▲國有林よりの供給增加

▲確實に炭礦え流入させる

▲森林計畫策定に當り坑木生産縣の過去實績を十分織む

▲中央及地方の審議會に炭礦代表を參劃させることなど取り敢えす關係當局に上陳する模様である

手洗コック紛失

十三日平到着二二三列車內手洗コックが紛失しているのを車輛掛大平藤友君が發見した

食パン盜る

十三日午前三時四六分頃常磐線下り二二列車後部五輛目で泉より三五、六才位黑サージ背廣赤短靴をはいた男が假眠中の市內根本豊治(四七)さんの風呂敷を持去つた中には食パン一斤が入つていた

小名濱便り

▼助役改選と公安委員の選任▲

小名濱町では新町議が初顔合せをした七日から、其後來る十九日頃、臨時町會を開くとかに聞いた、そして其の日の案件の內に長瀨助役の改選と、公安委員の選任がある、長瀨助役は來る二十日が滿期であり公安委員は、小泉委員長の滿期に依つて水野町長は之の意中の人として、西丸一翁を選任した、然るに承認式を擧くるまでに至らないで辭任するに至つたと云ふ經緯は會の空氣から言ふと、そう輕く考える事は無理である

助役選任も同樣で、町議會の同意を要する事勿論である、長瀨君が助役として、水野町長を補佐する上に、どうしてもなければならない人物である事は、誰しも異議のない處である、唯議會人も深き考慮を拂ふ必要のある事を忘れてはならない

▲選任權は理事者にあるが、同意を需むる處に、理事が單獨に處置の出來ない、舅なり小舅のある事を考量せねばならない、そして人事の上になにらかの選任に依つて一般町民が、十分納得の行く人事行政を進むる處に議會の運營が圓滑に行くもので、此點、理事者も議會人も深き考慮を拂ふ必要のある事を忘れてはならない

▲助役選任も同樣で、町議會の同意を要する事勿論である、長瀨君が助役として、水野町長を補佐する上に、どうしてもなければならない人物である事は、誰しも異議のない處である、唯議會の空氣から言ふと、そう云ふ經緯は會の空氣から言ふと、そう早急には解決が見え出せないが

▲年一回の伐採許可回數年度始め二、四回にする

▲國有林よりの供給增加

選擧も終つてホツと一息つく暇もなくあちらでもこちらでも年度始めの行事計劃やら××プランやら大分東奔西走お偉方は多忙を極め席溫まるにいとまはないらしい、誠に結構、働きたくとも働なぬ人々がうよ〳〵している世の中に忙しくて堪らないとは大へん御幸せな御身分、さて〳〵御偉方のお歸りは會議やら審議やらで非常なお疲れ、足許も危なげなヨロリヨロリの千鳥足、身も心もクタ〳〵に御疲れの樣子?役員會とかからのお歸りらしい或日の一こま、最も口の惡い巷の惡輩どもは「僕等は字をよく知らないが何んでもね役員會ではなくて役飲會又は役宴會とか言ふそうですよとね!ハハーン役宴會、役飲會ね、新假名使い新漢字つては便利なものですね、學校の先生におきゝなさいハテサテお偉い權威者方どうお答えになる事か?

(柳風子)

拾い読み

卸てそりの會はない議會人もある樣に見受けらるゝものもある、こう云ふ點から見てもいきなり、再選と持つて行かすに、町會の前日頃に協議會を開いて、無理をやらすに人情で持つて行く手を打つ事は、理事者の取る可き議會操從の方法であつて、其處に水野內閣の繼續性が判然と現はれる事となる事は、尤も上手な處理方法として、記者は苦言を呈する一人である、水野町長にして幸えに大襟度を以てこの提案を採用せん事を望むものである

(小名濱支局小林生)

今日も元氣で
くすり

開內藥局
平四丁目　電話四〇番

本場自慢
牛豚肉
配達迅速
第一線屋
第二線屋
第一電話五三九番
第二電話七九四番

食堂大衆
うどん燒鍋あつい
そば那支製特
さかえ
速迅前出
平驛前東角
電話九八八番

岡書店
平市中央通り　電話三九九番
インキはメーゼンインキ
優良な各種万年筆は
55圓

呉服太物
かみや
平市二丁目
T.256

皆樣の魚店
丸一市屋
平市四丁目
電話二一三番
磐城名産
鹽辛節